

市街化が進む水田地帯で地域ぐるみで農地を守る「茶屋新田地域資源保全隊」

—地域社会の振興機能—

ちゃやしんでん

茶屋新田地域資源保全隊



小学生の田植体験

平成 18 年度の農地・水・環境保全向上対策のモデル支援事業（平成 26 年度から多面的機能支払交付金に移行）を契機に、農業者、町内会、女性会、PTA 等で構成する「茶屋新田地域資源保全隊」を結成し、農業用施設の管理、あぜ道の草刈り、ゴミ拾い、景観作物の栽培などを行ってきた。

平成 23 年度からは田んぼアートでの田植を行っており、イベントには大勢の都市住民が参加し、交流を深めている。



愛知県名古屋市区



保全隊による草刈り

【地域社会の振興】

同地区の水田地帯でも市街化が進む中、保全隊が、農業用施設の管理、あぜ道の草刈り、ゴミ拾い、景観作物の栽培等に地域住民と一体となって取り組み、地域の農地を守っている。

また、田んぼアートでの田植を行い、大勢の都市住民と交流を深めるとともに、地域活性化を図っている。

【体験学習と教育】

保全隊構成員が農地や技術を提供し、小学生等への田植～収穫～餅つき体験や、さつまいも定植～収穫体験を行い、環境教育・食育を行っている。



田んぼアート田植体験



田んぼアート



小学生のさつまいも定植体験



コスモス（景観作物）狩りイベント風景



田んぼアート収穫祭
野菜の直売などで賑わう